

Shine

津幡南中学校長 永井 隆和
1年学年主任 村上 直哉

薬物について考える ～身近なところに危険が潜んでいる～

6月15日(木)に1年生を対象にした「薬物乱用防止教室」が行われました。今年は、北陸大学薬学部教授の宇佐見則行氏にお越しいただき、約1時間お話をいただきました。大学では、大麻や危険ドラッグの研究をなさっている第一人者で、薬物乱用の怖さや医薬品の正しい使用法、ドーピング防止などについて詳しく、そしてわかりやすくご講演をいただきました。薬物は、使用方法を間違えると私たちの大切な「脳」を破壊してしまうこと、危険ドラッグを1回でも使用してしまうと廃人への道をたどってしまうこと、医薬品の使用でも薬物乱用になることなど、改めて薬物の恐ろしさを確認することができた時間でした。誘われたら、「断る勇気」が大切であることも心に残りました。今回の話をこれからの子供たちの健全なる成長に生かして欲しいと願っています。



♪薬物は、少しの量でも中毒性がある、やめられなくなると知ったので、「ちょっとだけ…」と言って使わないようにしたいです。また、病院や薬局で処方されたり、購入したりできる薬でも、飲み方や飲む量を間違ってしまうと薬物乱用になると知ったので、薬を飲むときは気をつけたいと思います。今後、友達などに誘われてもキッパリと断っていきたいと思いました。

(①二木玲南)

♪今日の話聞いて「あっ、そうなんだ」と思ったことが2つありました。まず一つ目は、「よい薬でも薬物乱用になる」ということです。私は、よい薬と悪い薬を完全に区別していて、よい薬だから何をして大丈夫だと思い込んでいました。でも、今回の事で、よい薬でも使用方法を間違えるとダメなんだと知りました。2つ目は、「誘われる」ということです。乱用していることをばれたくないから隠すと思っていたけれど、逆に仲間を増やそうとするんだなあと思いました。誘われても断る勇気をしっかり持って生活していきたいです。(①蔵野華音)

♪今日のお話を聞いて学んだことは、よい薬でも使い方を間違えると悪い薬になることです。また、お酒を飲んだ人の脳を見てびっくりしました。飲んでいない人と比べて脳がとて縮んでいたからです。悪い薬やお酒、たばこはとて身体に悪いし、よくないものだと思っていました。これからは、よい薬でも悪い薬でも、たばこ、お酒にも気をつけて、健康でいられる行動を心掛けていきたいです。知らなかったことも知っていたことでも、改めて考え直すいい時間となりました。(②木下結花)

♪薬物は、悪い薬だけのことかと思っていたけれど、よい薬でも医者からもらわなかったら薬物を乱用していることになることがわかった。他にも凶暴になったり攻撃的になるなど、身体に影響があることもわかった。20歳未満で飲酒をすると、考える力が低下したりすることも知ることができた。将来大人になったら、お酒を飲むときは飲み過ぎないようにしたいと思った。(②新木龍斗)

♪去年も薬物乱用の話を聞いたけれど、今日の宇佐見さんの話を聞いて、改めて薬物は危険だと思った。薬を決まった数以上飲んだら薬物乱用になると聞いて驚いた。今日聞いてなかったら、やっていたかも知れないから、話を聞いてよかったと思った。これからも、たばこを吸わないようにするし、大人になってもお酒を飲み過ぎないようにしたいと思った。(③石倉悠梨)

♪今日の薬物乱用防止教室を通して、改めて薬は使い方によっては危険なものだということがわかった。大麻等のものは、まだよくわからないところもあるけれど、とても危険なものだということがわかったので、絶対に使用しないように気をつけようと思いました。また、飲食するものは変なものが入っていないか確かめて選んでいこうと思いました。(③浦あおい)

♪今日の薬物乱用防止教室で、よい薬と悪い薬があることを学びました。6年生の時によい薬でも使い方によっては悪い薬になってしまうというお話を聴いたけれど、改めて気づくことができたのでよかったです。私は今日の話で、悪い薬を使いたくないと思いました。今度、薬物で命を落とす人がなくなるといいなあと思いました。もし、誰かから誘われても絶対に断ろうと思いました。(④竹谷萌花)



♪今までの自分の知識の中で、大麻やシンナーなどの危険な薬を使うことを薬物乱用と思っていたけれど僕は今日の話聞いて、風邪薬でも使い方や使う量を間違えたりするだけで、薬物乱用になることを初めて知りました。今回の経験を生かして、薬物乱用にならないように十分気をつけて生活していきたいです。(④小坂涼太)

♪今日のお話を聞いて、使用の注意を守ることが大切だとわかった。特に、安全な薬でも使い方を間違えると薬物乱用になるということに驚いたし、使い方には気をつけようと思いました。小学校の頃に一度聞いたことがあったけれど、知らなかった内容のものや、忘れていたものもあったので忘れないうちにおこうと思いました。危ない薬を飲む人の心境もわかったので、人に誘われても絶対にその誘いに乗らないようにしようと思ったし、薬物を乱用している人がいたら注意できるようにになりたいと思いました。(⑤南美徠久)

♪よい薬でも予防のために使うと薬物乱用になることを知らなかったから、今度は使用目的を間違えないようにしたいです。薬物を乱用すると、記憶力が低下し、物忘れがひどくなるのがわかったから絶対にしたくないと思いました。また、お父さんが毎日たばこを吸っているから、たばこをやめるか減量した方がいいと伝えたいと思いました。(⑤山内優助)

♪覚醒剤や大麻などの違法薬物を使うのがよくないと思っていたけれど、風邪薬や鎮痛剤などの医者から処方された薬でも、用途や用量を誤って使ってしまうと薬物乱用になることを知ることができたから、これからは気をつけたい。違法薬物を合法薬物や脱法薬物と偽って売ることがあるのは怖いと思った。1回だけなら大丈夫と思ったり、自分ならやめられると思って手を出すことは絶対にしないようにしたいと思った。(⑥早川透生)

♪今日の話聞いて、普通の薬でも使い方によっては危険ドラッグになることを知りました。薬の使用量や使用回数、そして、使用法などを間違えると乱用していることになることを知って、気をつけていこうと思いました。他にも、安全な薬と危険な薬の見分け方を確認でき、誘われてもしっかりと断ることが大切だとわかりました。自分が気づかぬうちに薬物を乱用していたり、身近なところに危険ドラッグが潜んでいることを知ったので、気をつけて生活していきたいです。(⑥松村美咲)

山谷SC先生、これからもよろしくお願いします！

今年度、新しく赴任されたスクールカウンセラーの山谷文彦先生の紹介を兼ねて、1年生全体とお話をしました。中学生生活も3ヶ月が過ぎようとしていて、勉強にも部活動にも慣れてきた反面、悩み事も少しずつ出てくる頃かなと思います。ひとりで抱え込まず、担任の先生や学年の先生、部活動の先生や保健の先生、誰でも構いません。近くの人に相談することで少しでも肩の荷が下りると思います。山谷先生は、毎週木曜日の午後に来校されます。相談には予約が必要ですので、次の訪問日に予約してみてください。楽しく笑顔で中学校生活が送れるように、サポートし続けます。



山谷先生の話

○人生で一生涯に出会う人は3万人と言われていて、

その中で、関わる人は3000人、学校や職場で話す人が300人、親しい友達は30人

○津幡南中学校の1年生は181人、1クラスは、30人 ※世界の人口は80億人を超えました。

【単純に計算して見ると・・・】

♪181人の人と出会う確率は 4400万分の1 (ジャンボ宝くじの約4倍)

♪クラスの30人と出会う確率は 2億6千万分の1 (ジャンボ宝くじの約26倍)

♪ジャンボ宝くじに当選する確率は 1000万分の1

つまりは・・・今、皆さんと一緒にいる同級生は 世界中の人口の4400万人にひとりの同級生
2億6千万人にひとりのクラスメイトなんです。

※ジャンボ宝くじの1等当選よりも何倍も高い倍率の人達なんです！

わたしたちは、ラッキー中のラッキー！

皆さんは、人生で出逢った友達とどう接し、どう人生を楽しみますか？

どうせなら、奇跡的に出逢えた友達と、楽しく、仲良く過ごせた方がいいじゃないですか？